

こころみ



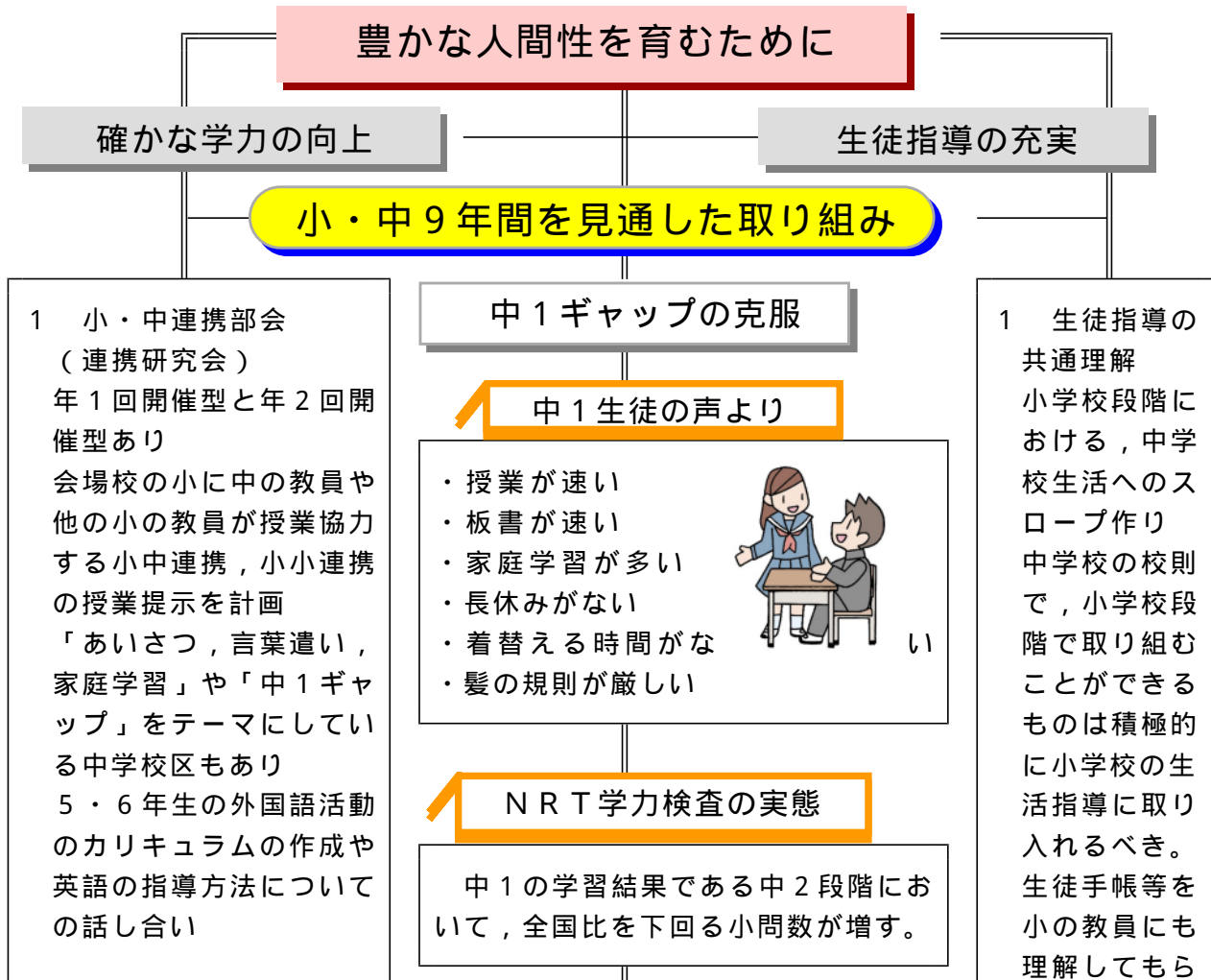
2009.10.30 担当：教頭会

小・中連携について考える Part 2 ～校長・教頭合同研修会（8/5）より～

実りの秋，各小・中学校の研究も充実の時期を迎えているのではないのでしょうか。

今月，27日は中学校で，29日は小学校で市教育研究会総合研究会が行われ，いろいろと収穫が得られたことと思います。

さて，小・中の連携について，各中学校区で計画的に進められていることと思います。8月5日には，市教育講演会で小・中接続・連携の意義と課題について児島教授よりご講演をいただき貴重な研修の機会を得ることができました。午後からは，市校長・教頭合同研修会が行われ，「豊かな人間性を育むための小・中連携の推進」について協議が行われました。協議記録をもとに各中学校区での参考にしたい取り組み，話題になったこと，課題等についてまとめてみましたので，連携のあり方を考える参考にしてほしいと思います。



2 小・中交流授業

小・中教員の授業交流による学校相互理解
中の英語教師による小での授業。小の教師も中の英語の授業に参加
教師の交流：中から小へ（理科，音楽，体育，部活動：ブラスバンド部担当） 小から中へ（技術・家庭）
3日間小中交流授業，3日目に連携部会
研究授業の相互参観，研究会への参加

3 家庭学習

家庭学習の習慣化を強化する共通実践と啓発活動

1 目標の設定

小学校はここまで，中学校ではここまでという目標設定。保護者への説明も必要

9年間を見通した児童生徒の育成のための全体計画を作成している
中学校区もあり

2 体験入学，生徒訪問

6年生の体験入学，体験学習
生徒会役員の小学校訪問，中学校の生活紹介等

中学生の小学校での職業体験

3 行事への参加

小・中合同行事（運動会，クリーンアップ，なべっこ，講演会）
運動会や体育祭への児童生徒の参加プログラムも考えてもいいのではないか。

4 その他

マス目ノートから罫線ノートへの移行期間の設定
オープンスペース校舎から入学する生徒への配慮
高学年教室での中学校の教科書の設置

う。

中学校の校則等も小学校の児童に知らせるべき。

2 生徒指導の情報交換

小・中連携部会で必要に応じた情報交換で

課題

保護者・地域との連携

- ・ 1中1小では，子どもたちの人間関係が固定化してしまう。
- ・ 小・中連携に対する先生方の意識の問題もある。
- ・ 小・中授業交流は離れているとやりにくい。
- ・ 年数回の研究会では，なかなか問題解決に至らない。
- ・ 小・中学校の一貫教育課程の検討とカリキュラム連携を行う必要があるのではないか。総合的な学習の時間における小・中の学習内容を検討すべき。
- ・ 中学校に入学した子どもに乗り越えさせる経験も必要。校則に関しては，社会に出ていく人間として身に付けなければならないルールも多く，スロープを作りつつも，「鉄は熱いうちに打て」も必要。



が

1中1小であれば，連携のしやすさがあり，それを効果的に生かして取り組まれています。1中複数小では，連携のしやすさという点では課題がありますが，限られた連携の機会を有効に生かしたり情報交換を密にしたりする等工夫して進められています。各中学校区の実情に応じ，他の中学校区の取り組み等も参考してほしいと思います。豊かな人間性の育成のために。